

「教室」では、トークを楽しみながら、禁煙を考えた



細木病院

## 禁煙チャレンジ教室 楽しくやめるには…

細木病院は8月2日、タバコをやめたい人を対象にした、「禁煙チャレンジ教室」を当院の講堂で開いた。教室には、禁煙外来に通っている方ら約20人が参加し、北川隆夫内科部長の指導を受けた。

この日のスタッフ（7人）は、全員が白のTシャツで登場し、気軽にムードを演出。まずは北川部長が、職員の質問に答えるかたちで、自らの禁煙体験を告白。「何回も禁煙して、完全に止めるまでは

2年ぐらいかかり、大変だった」と述べた。

続いて、北川部長がタバコの有害性、病気との関連などについて講演。その後、職員が「酒の席でのタバコの断り方」を寸劇で披露。愉快なトーキングを繰り広げた。

この日のスタッフ（7人）は、全員が白のTシャツで登場し、気軽にムードを演出。まずは北川部長が、職員の質問に答えるかたちで、自らの禁煙体験を告白。「何回も禁

## 煙害ストップ! 分煙進める

細木病院

うといしきつかけになれば嬉しい」「これから的人生を前向

きに考えて欲しい」と述べ、参加者を励ました。

を吸わされる（受動喫煙）ことの防止がうたわれており、

病院など多くの人が集まる場所では受動喫煙の防止に努めなくてはならない、とされて

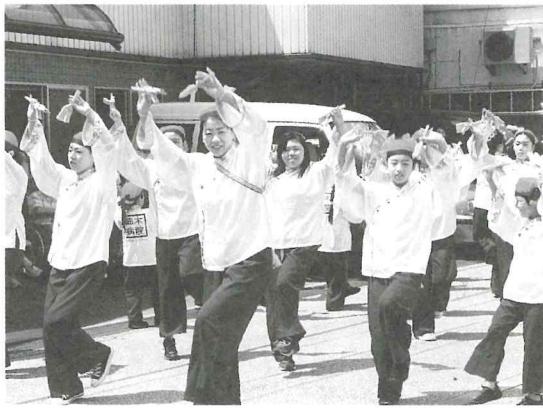
いる。

同法の趣旨にしたがい、当院では患者さん、見舞い客用には本館1階と新館3階などに、職員には新館出入口の横に喫煙「一ナ」を設けた。

細木病院

ユニティ病院

# 「よきこい祭り」参加 元気をアピール



ダイナミックな踊りを披露する  
細木病院の踊り子隊（当院新館前）



患者さんからも拍手をもらった（ユニティ病院）



男性は力強く（当院新館前）

高知の真夏の祭典「よさこい祭り」が、8月9日から12日まで、高知市内で華々しく繰り広げられたが、細木病院

チームは今年も参加（3回目）、エネルギッシュな踊りを披露し、病院をアピールした。

細木病院の職員・家族のほか、細木ユニティ病院、土佐看護

上最多の187チーム、約2万人が参加した。わがチームは、

が参加した。細木病院の職員・家族のほか、白い上着にブルーのズボン、頭には赤いターべんを巻き、さっそくと登場。テンポのよい音楽に合わせて、ダイナミックな踊りを披露する。ダンスの本部競演場に登場。ここでは審査があり特に

# 3回目出場で底力示す

専門学校の職員・家族・学生ら65人で編成。7月初旬から練習に励んできた。

南館で踊った後、上町、町内には、細木病院の新館前に、追手筋の本部競演場に登場。ここでは審査があり特に

升形の競演場を経て、メイン

会場。

ここでは審査があり特に

気合を入れて踊り、観客にア

ピール、テレビ中継もされ

た。

11日は細木病院と細木ユニ

ティ病院で踊り、田中整形外

科病院、清生園病院を経て菜

園場の競演場などでも元気な

ところをアピールした。

個人賞としてたくさんのメ

ダルを獲得し、3年連続出場

で優勝旗も授与された。

リーダーの一人は、「3回目の出場

で、スタッフにも底力が出て

きた」と感想を述べながら、

「次はロック調の音楽で、ハ

イテンポでやりたい」と、早

くも来年への意気込みを見せ

ていた。